

インターンシップ実習を実施しました

県土整備企画室

平成26年9月1日（月）から5日（金）までの5日間、県土整備部では大学生を対象としたインターンシップ実習を受入れ、本庁各室課と沿岸広域振興局土木部にて実施しました。

実習に参加したのは、いずれも本県出身者で、本庁にて4名、沿岸広域振興局土木部にて1名が実習しました。

このうち、本庁で実習に参加した4名の状況について紹介します。

実習は、参加した学生の事前の希望を踏まえ、次の室課にて行いました。

実習生	実習担当室課
盛岡大学 畠中 未来 さん	県土整備企画室
秋田大学 泉田 侑太郎 さん	道路環境課
岩手大学 高泉 留衣 さん	河川課
筑波大学 佐々木 洋典 さん	都市計画課

【初日：9月1日】

実習生の4名は、それぞれ緊張した面持ちで県土整備企画室へ集合しました。

午前には、オリエンテーション、県のしくみと仕事、県土整備行政の概要についての説明を受けたあと、部長室訪問、部内各室課へのあいさつ回り、さらに、議会棟や県庁舎を見学しました。

県土整備部長からは「短い期間ではあるが、様々な人や仕事に触れて岩手県という組織の雰囲気を感じて欲しい」との激励を受け、また、各室課への挨拶では元気良く自己紹介していました。

議会棟の見学では、本会議場や各種委員会室等を見学し、ニュース番組等のテレビを通じてしか見たことのない場所を体感し、感激していた様子でした。

午後は、配属室課にて当該室課の分掌業務の説明を受けました。

【実習生のコメント】

県庁に来たこと自体が初めてだったのだが、今日1日でいろいろと知ることができた。県土整備部のしくみもおおよそ理解できた。議会棟を見学できたことは貴重なことであった。午後の業務説明では、私が思っていた以上に大変な仕事内容で驚いた。仕事ひとつひとつが細かく、もし私がここで仕事をするようになったらと思うと、すごく不安や焦りを感じた。もっと勉強しようと思った。

【2日目：9月2日】

各実習担当室課において、それぞれ実習を行いました。

道路環境課では業務説明のほか、盛岡市内にて道路補修の現場見学実習を行いました。

そのほかの実習生は、終日、業務説明を受けたり、資料作成実習を行ったりしました。

いずれの実習生も、県の仕事について、専門的かつ膨大であること、また、スケールの大きさや重要性の高さに驚いた様子でした。

【実習生のコメント】

個人で担当する業務がとても専門的だと感じた。一人ひとりの担当業務が幅広く、かつ規模が大きいものばかりであるため、すごくやりがいのある仕事だと思った。1日目より沢山質問ができ、“県で働く”ということを経験した。以前より現実的なものとして実感できた。

【3日目：9月3日】

前日に引き続き、各実習担当室課において、それぞれ実習を行いました。

県土整備企画室においては、財務会計システムの操作や各種資料の作成補助の実習を行いました。

道路環境課においては、道路の維持管理に関する説明をした後、実際に盛岡広域振興局土木部管内の道路パトロール実習を行いました。

河川課では、大船渡地域の河川・海岸の現場において、視察等の実習を行いました。

都市計画課でも大船渡地域において、復興まちづくりの現場視察等の実習を行いました。

【実習生のコメント】

陸前高田の海岸復旧工事や大船渡駅前の土地区画整理事業はこれからより大きな動きを見せるということで数年後ぜひ訪れたいと思った。また土地区画整理事業など聞いただけでは少しわかりづらいところもあったが実際に訪れて話を聞くことで理解を深めることができ、まさに「百聞は一見に如かず」だな、と思った。

【4日目：9月4日】

実習生全員にて、花巻空港事務所、綱取ダム管理事務所での現場見学等の実習を行いました。

花巻空港事務所では、空港管理業務の説明を受けたあと、化学消防車や除雪車両の見学、滑走路点検パトロールの実習を行いました。滑走路パトロールでは、滑走路上の全ての航空灯火を点灯した状態で実施したことから、壮観な環境での実習となりました。



【実習生のコメント】

花巻空港事務所では、実際に滑走路や消防車などを見学させていただいて大変貴重な体験になった。特に今まで気にかけていなかった照明関係が、空港でもとても重要な役割をしているということが今回の見学を通して分かった。

綱取ダム管理事務所では、ダム管理業務の説明を受けたあと、堤体内部の設備等を見学しました。放流管バルブの開放では、その水量に圧倒されていました。



【実習生のコメント】

綱取ダムは、堤体内部を見学した。普段は絶対に入れないであろう場所に入ることができて、とても面白かった。また、想定外の状況に陥らないように日常的に準備をしていくことがとても大切だと学んだ。

【最終日：9月5日】

前日に引き続き実習生全員で、北上川上流流域下水道事務所、築川ダム建設事務所の現場視察等実習を行いました。

北上川上流流域下水道事務所では、下水道事業の概要についての説明のあと、工事中区画の安全パトロールに同行しました。職員と請負業者とのやり取りや、安全管理に対する視点等について興味深く聞いていました。



【実習生のコメント】

事務所の方や同行した企業の方は気を付けなければならない点をよく観察し、終了後の意見交換を活発に行っていた。全て基本的なことだったが、基本をきちんと行ってこそ事故を防げる、何事も基本が大切なのだという点を学んだ。

築川ダム建設事務所では、ダム建設事業の概要説明を受けたあと、根田茂川上流端付近の県道代替工事現場やダムサイト建設予定地等を見学しました。

実習生は、工事概要の説明等を熱心に聞いていました。



【実習生のコメント】

築川ダム建設事務所では、実際の現場で働く先輩からもお話を伺えて、現場で働くことにも凄くやりがいを感じた。業者さんとの連携が重要だとすることもできた。

全体を通して、実習生からは「充実した内容であった」こと、「将来、県職員として仕事をしたい」との感想をいただきました。

実習生の皆さん、お疲れ様でした！